

説 教

聖日礼拝 北浜チャーチ

黒田 禎一郎

2018年2月18 (日)

主 題：「無いのに有る人生」

— 幸いな聖徒 —

テキスト：マタイの福音書5章13節

はじめに

- ・マタイの福音書5～6章にかけて、イエス公生涯のはじめに教えられた大切なことが書かれています。先ず「山上の垂訓」(5：3－8)、「山上の説教」(5：13－6：8)、そして「主の祈り」(6：9－13)です。
- ・私はすでに「山上の垂訓」、「主の祈り」は説教し、小著となり出版されていますので、よろしければお読みください。今日は、次の1節から学びたいと思います。**マタイの福音書5章13節**

「あなたがたは、地の塩です。もし塩が塩けをなくしたら、何によって塩けをつけるのでしょうか。もう何の役にも立たず、外に捨てられて、人々に踏みつけられるだけです。」

- ・ではイエスは、なぜ「あなたがたは地の塩です。」と言われたのでしょうか？ 3点から考えてみましょう。

大切なポイント**1. 「塩」は生活必需品****1) 「塩」の役目**

- ・「塩」は古今東西問わず、昔から身近なもので貴重な存在です。「塩」には、常に果たすべき務めと役割があります。

●<死海の塩>

- ・死海 (Deadsea) は、イスラエルとヨルダンの国境沿いに位置しています。長さ南北60キロ、広さ東西17キロの湖。海拔マイナス約400メートルという世界で最も低いところにある。その死海周辺は、聖書の創世記のロトのストーリー始め、ダビデ王、預言者たちの避難物語、イエス洗礼後の40日間断食の舞台ともなり、またモーセの出エジプト後のルートにもなっている。この湖は塩分濃度が非常に高く、生物はほとんど生息できないことから「死海」と呼ばれています。

●<死海の癒やし効果>

塩分濃度が海水の約10倍と高いため、湖水に浮かぶか浮きます。死海でのリラクゼーション効果は、この浮遊体験のみから得られるものではありません。それは塩水に含まれる天然ミネラルが、一般海水の30倍もあり、それが心や身体をリラックスさせ、美容や健康やさまざまな疾病を癒す効果があるので

す。特に皮膚病やアトピー性皮膚炎、関節炎やリウマチなどに良い効果をもたらすと言われていました。

- これが「死海」であり、死海の「塩」です。イエスは言われた；
「あなたがたは、地の塩です。もし塩が塩けをなくしたら、何によって塩けをつけるのでしょう。もう何の役にも立たず、外に捨てられて、人々に踏みつけられるだけです。」
マタイ 5:13

2) 「塩」の機能

- ① 防腐剤 / 漬物、保存食（乾燥魚等）には必ず用いられる
 - ② 薬味 / どんな料理でも、特に欧州料理は大切な薬味である
 - ③ ミネラル / 人の身体を保持するために必要である。
- 死海の塩分の特徴のひとつは、主要7種のミネラルはじめ、64種類ものミネラルが含まれているところにあります。

2. 「塩」の第一義的解釈

- なぜ、イエスは「あなたがたは地の塩です。」と言われたのでしょうか。
聖書解釈で重要なことは、その時代、文化、歴史、習慣、風習、信仰等から、聖書箇所を当時の分脈からとらえる解釈です。それを第一義的解釈と言います。
- 弟子たちの存在には ⇒ 「塩」の役目がありました
イスラエルの歴史から、その存在は防腐剤、薬味、ミネラル等の立場でした。
しかし、現実のイスラエルは「塩」の役目を果たしてきたのでしょうか。
⇒ 果たした面と、そうでない面がありました
- そこで大切なことは、「塩け」を保つ重要性です。
「塩け」を失えば、これらの機能を失うことになります。塩が塩でなくなります。⇒同じように、イエスに従う者には、「地の塩」として役目があります。
- 私たちは先ず第一義的解釈を大切にしたいと思います。

3. 「塩」の第二義的解釈（適用）

- 次に聖書解釈で重要なことは第二義的解釈です。つまり、自分への適用です。

1) キリスト者は「地の塩」である

- イエスは「あなたがたは、地の塩です。」と言われました。
「塩」には、防腐剤、薬味、ミネラルの働きがあります。社会で、家庭で、塩の役目が与えられているのです。つまり ⇒ **あなたの存在が大切！**

2) 「塩け」を保つこと

- 「塩け」はどこから来るのでしょうか ⇒ 「塩」を作られたお方から
人に与えられた大切な課題は、「時にかなう言葉」、「ふさわしい適切な言葉」ではないのでしょうか。なぜなら、私たちは言葉でよく失敗するからです。

パウロは言いました； コロサイ人への手紙

4:6 あなたがたのことばが、いつも親切で、塩味のきいたものであるように
しなさい。そうすれば、ひとりひとりに対する答え方がわかります。

- では、「塩味のきいた言葉」とは、どんな言葉でしょうか？

{例 話} 「カイザルのものはカイザルへ」 マタイ福音書

22:15 そのときパリサイ人たちがきて、どうかしてイエスを言葉のわなにかけようと、
相談をした。

22:16 そして、彼らの弟子を、ヘロデ党の者たちと共に、イエスのもとにつかわして言
わせた、「先生、わたしたちはあなたが真実なかたであって、真理に基いて神の
道を教え、また、人に分け隔てをしないで、だれをもはばかられないことを知っ
ています。

22:17 それで、あなたはどう思われますか、答えてください。カイザルに税金を納めて
よいでしょうか、いけないでしょうか」。

22:18 イエスは彼らの悪意を知って言われた、「偽善者たちよ、なぜわたしをためそう
とするのか。

22:19 税に納める貨幣を見せなさい」。彼らはデナリ一つを持ってき きた。

22:20 そこでイエスは言われた、「これは、だれの肖像、だれの記号 か」。

22:21 彼らは「カイザルのです」と答えた。するとイエスは言われた、「それでは、カ
イザルのものはカイザルに、神のものは神に返しなさい」。

22:22 彼らはこれを聞いて驚嘆し、イエスを残して立ち去った。

- この聖書箇所の子ーポイントは、何でしょうか？

①イエスは悪質な策力にはめられるかどうか

②イエスの「ことば」に反論余地がない「知恵あることば」であった

③陰謀者たちの方から離れて行った

- このイエスのことばから、私たちは「塩味のきいた言葉」を学ぶことができます。⇒ 人
間関係の祝福

3) イエスに従う者は；

- マルコの福音書

9:49 すべては、火（試練）によって、塩けをつけられるのです。

9:50 「塩は、ききめのあるものです。しかし、もし塩に塩けがなくなったら、何によ
って塩けを取り戻せましょう。あなたがたは、自分自身のうちに塩けを保ちな
さい。そして、互いに和合して暮らしなさい。」

- 聖書は、「知恵」、「賢明」、「健全」さを用いるように奨励しています。

「塩け」を無くした塩が、役に立たないように、聖さや誠実（主への忠誠心）
を無くしたクリスチャンも、この世において役にたたなくなります。

- すなわち「塩」には、存在価値があります。私たちは存在に価値がある人になりたいも
のです。それは私ではなく、私の内にイエス・キリストがいてくださるから可能なので
す。

● では、どうすれば、「塩味のきいた言葉」を語れるでしょうか？

① 日々、「塩味のきいた言葉」を求めること

⇒ みことばを学び、心に蓄えること

- ・神のみことばは、知恵と恵みに満ちています。みことばを読み学ぶことは、それらを勝ち取ることです。イエスは人の姿を取り、この世で歩まれました。しかし、このお方は大きく違っていました。
- ・どこが違っていたのでしょうか？
⇒ 全き人であり、知恵と恵みに満ちたお方でした
聖書は、このイエスについて記録し教えています。
- ・聖書：「求めなさい。そうすれば与えられます。」 マタイ 7：7

② 日々、主との交わりを大切にすること ⇒ 主の感化を受ける

人は交わる人から影響を受けるものです。人格的にできた方との交わりは、当然人格的影響を受けるものです。

{例 話}

私のドイツ生活……。青年期（22—35歳）の一番大切な時間を、すばらしい人々との交わりが与えられました。良い友人、良い恩師、すばらしいクリスチャンとの出会い等……。一番はじめに下宿した Duesseldorf の Boddenberg 家とは、すでに48年のお付き合いがつづいています。

- ・今、考えると、当時の私の生活は教会生活が中心で動いていました。軸足がしっかりしていた（つまり無駄が少なかった）。
⇒ 今では、それが私の財産となりました。感謝。
- ・格言で「朱と交われれば赤くなる」と言うように。イエスとの交わりに入れば、イエスの人格的影響を受けるのです。

③ 日々、主と共に歩むこと

愛している人とともに歩くことは、決して負担にはなりません。

聖書：神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」ヨハネ 3：16

- ・神は私たちが愛しておられます。多分、私たちは気づいていないかも知れません。しかし、私たちが知っても知らなくても、神は愛しておられます。
⇒ それが聖書の神です

{例 話} ヨハネ 8章

- ・ある時、イエスのもとに姦淫の場で捕らえられた女が連れてこられました。当時の社会的指導者たちは、モーセの律法を引用し「この罪は石打の刑である」と言いました。「愛」、「赦し」を教えるイエスをワナにかけようとしていました。
- ・イエスの返答 ⇒ 「あなたがたのうちで罪のない者が、最初に 彼女に石を投げなさい

い。」(ヨハネ8:7)すると、年配者から順にひとりずつ去って行きました。最後にイエスだけが残りました。そしてイエスは女に尋ねました。だれがあなたを裁こうとしているかと。彼女は言った。「だれもいません。」そこで、イエスは言われた。「わたしもあなたを罪に定めません。行きなさい。今からは決して罪を犯してはなりません。」(ヨハネ8:11)

- 皆さん！ イエスはこの時、何を地面に書かれたと思いますか・・・？ 私は、きっと聖書の「ことば」(トーラー)ではなかったかと思います。神の「ことば」(トーラー)が、人の心を刺したのでした・・・。

* 「塩味のきいた言葉」 ⇒それは隣人へ向けて語られる言葉です
(人間関係の横軸)

- 問題に出会った時、イエスならどう応答されるかを考えることが大切です。きっと「塩味のきいたことば」のはずです。その言葉は人からでなく、主から来ます。ですから主と共に歩むことは大切です。
「あなたがたは、地の塩です。もし塩が塩けをなくしたら、何によって塩けをつけるのでしょうか。もう何の役にも立たず、外に捨てられて、人々に踏みつけられるだけです。」 マタイ5:13

ま と め

主 題：「無いのに有る人生」
— 幸いな聖徒 —

マタイ5:13 あなたがたは、地の塩です。もし塩が塩けをなくしたら、何によって塩けをつけるのでしょうか。もう何の役にも立たず、外に捨てられて、人々に踏みつけられるだけです。

- どうすれば「塩け」を保持できるでしょうか？
⇒ 「塩」を造られたお方に
 1. 「塩味のきいた言葉」を求めること
 2. 「主との交わり」を求めること
 3. 日々、「主とともに歩む」こと

* God bless you !